

未来への扉を開こう。

～OPEN TOMORROW～

1. はじめに

福井県は、豊かな自然に恵まれ、千年を超える歴史や文化の厚み、家族や地域社会のつながり、優れた子育て・教育環境、充実した産業・雇用、そして勤勉な人材力が受け継がれており、「幸福度日本一」と評価されています。

2024年春の北陸新幹線の福井・敦賀開業、そしてその先の大阪全線開業、また2026年春の中部縦貫自動車道の県内全線開通など、高速交通ネットワークの整備が進むことにより、交流圏域が広がり、地域・産業の活性化など大きな効果が期待されます。

福井県は今、県勢を大きく飛躍させる100年に一度の大きなチャンスを迎えており、さらなる発展を目指し、2020年7月に『福井県長期ビジョン』を策定しました。その取り組み事例についてご紹介します。

2. 新幹線駅周辺の整備

『福井県長期ビジョン』の政策の一つとして「新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト」を掲げております。福井・敦賀開業にあたり県内に4つの駅（芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅、敦賀駅）ができる好機を活かし、新幹線駅を中心としたまちづくりとして、各駅へのアクセス道路の整備、各駅から主要観光地等への二次交通の充実、賑わい施設や駅前広場、道の駅、駐車場の整備などを進めています。

3. 県都の玄関口（福井駅周辺）の整備

1) 中心市街地の再整備

県都福井市の福井駅周辺は、戦災、震災後に復興した中心市街地ですが、近年は、踏切での交通渋滞、鉄道による市街地分断、建物の老朽化、空き店舗化など様々な課題を抱えていました。

そのため、県において在来線の連続立体交差事業、福井市において駅周辺の土地区画整理事業や駅前広場の整備などの事業を行い、分断されていた中心市街地の一体化、交通の円滑化、交通結節機能の強化、土地の高度利用などを図りました。

また、民間による市街地再開発事業や優良建築物等整備事業が行われ、商業、業務、住宅などの施設が整備されてきております。現在も、新幹線福井駅に併設する福井市観光交流センターの整備、民間による再開発事業など、新幹線開業を見据えた市街地整備が進められています。



福井駅東口駅前広場



福井県知事 すぎもと たつじ
杉本 達治

2) 恐竜エリア拡大プロジェクト

福井駅の東西駅前広場を中心として、県のトップブランドである恐竜をテーマに様々な仕掛けを行い、「恐竜といえば福井」を強烈に印象づけ、「福井に来た」というワクワク感を醸成していきます。

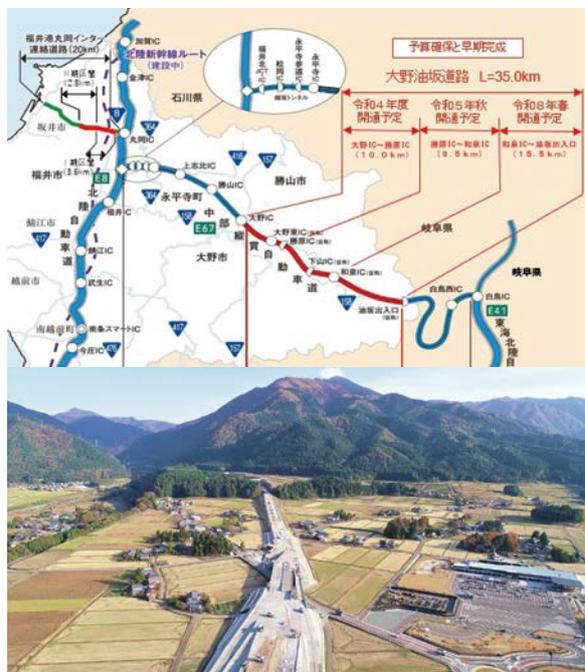
新たな恐竜モニュメントや最新のデジタル技術を活用した恐竜が飛び出すARディスプレイの設置など、県、福井市、地域が一体となって恐竜エリア拡大に取り組み、駅周辺の回遊性を高め、憩いとにぎわいのエリアを創出していきます。



恐竜モニュメントの設置

4. 高規格道路（中部縦貫自動車道）の整備

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点とし福井市に至る約160kmの高規格幹線道路（自動車専用道路）であり、2026年春に福井県内の全区間が開通予定となっています。この区間は、無料で通行ができ、本県と中京圏とがより身近につながるようになります。沿線の大野市では、道の駅「越前おおの 荒島の郷」が開駅し、新しく完成した産業団地にアウトドア用品メーカーが進出するなど、中京圏からの観光誘客や企業誘致を見据えたまちづくりが進んでいます。



中部縦貫自動車道と道の駅「越前おおの 荒島の郷」

5. おわりに

国、市町、企業、県民の皆さんと力を合わせ、「チームふくい」一丸となって、「すべての世代がチャレンジできる社会」「幸せ、安心を実感できる社会」の実現に向け全力を尽くし、将来にわたって希望を持てる、福井の未来を共にひらいていきます！

本年9月には福井県において、一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会が開催されます。現場研修では福井市観光交流センター（北陸新幹線福井駅拡張施設）など福井駅周辺や中部縦貫自動車道の整備状況もご覧いただけますので、皆様のお越しをお待ちしております。